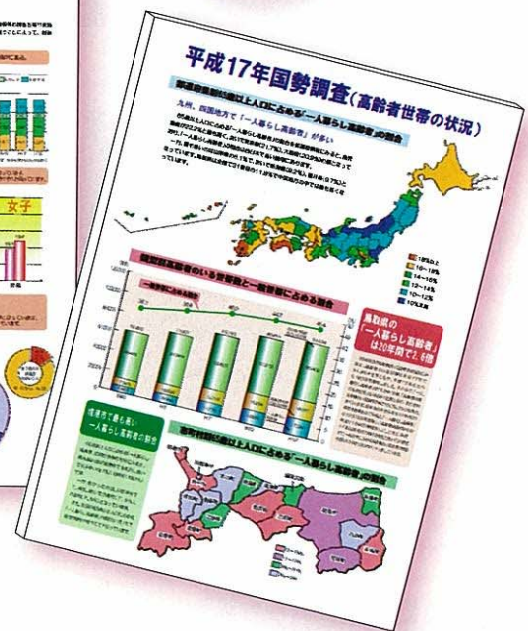
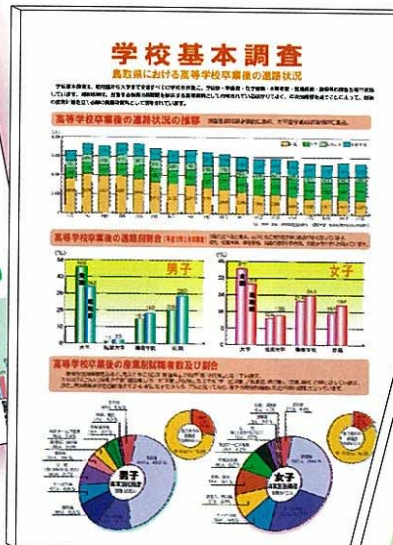
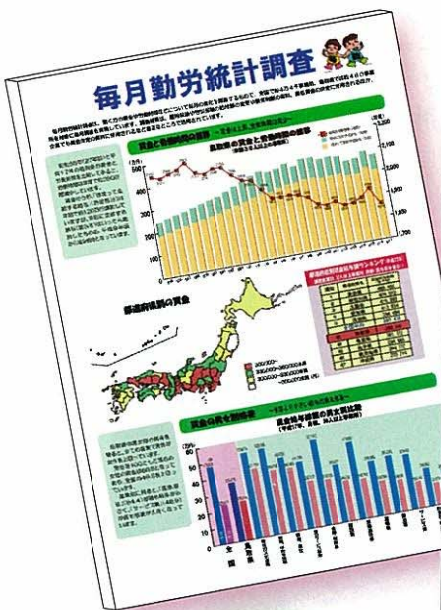


統計とっとり

平成20年3月
第97号
鳥取県企画部統計課
TEL0857-26-7103
FAX0857-23-5033

統計課ホームページアドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/toukei>



統計課では、県民の方々に統計への関心を高めていただくため、各種統計調査の結果を分かりやすいグラフにして表した「統計パネル」を毎年10枚程度作成しています。

これらのパネルは、統計課や統計調査員会で活用するほか、図書館、学校、公民館などへ貸し出しています。今年度も随分と利用されました。

希望により、貸し出しを随時行っていますので、御活用ください。

平成19年度 統計功労者表彰式・統計セミナー開催

主催／鳥取県・米子市・鳥取県統計協会

平成19年度統計功労者表彰及び統計セミナーを、鳥取県、米子市、鳥取県統計協会の主催により、平成19年11月12日（月）、米子コンベンションセンター小ホール（米子市末広町）で約100名の参加を得て盛大に開催しました。



青木企画部長による挨拶

統計に功績のあった方々や団体に対し、各省大臣表彰、鳥取県知事表彰、鳥取県統計協会会長表彰等が厳かに行われました。

各省大臣表彰は、総務省政策統括官（統計基準担当）付統計審査官室の林雄作国際統計企画官より伝達され、また、鳥取県知事表彰等については、鳥取県企画部青木由行部長より授与されました。

受賞者を代表して、鳥取県知事表彰受賞者の安達早苗調査員より、謝辞が述べられました。

表彰式に引き続き、統計セミナーが開催され、「新統計法の概要」と題して林雄作国際統計企画官から、また「地域調査」の歴史－江戸時代から現代まで－と題して鳥取市歴史博物館の伊藤康晴学芸員から、それぞれ有意義なお話をうかがいました。



表彰状の授与



受賞者による謝辞（受賞者代表の安達調査員）

第58回 全国統計大会 深田 雅子調査員（鳥取市）が 全国統計協会連合会長表彰を受賞

平成19年10月31日（水）、富山市において、第58回全国統計大会が開催され、受賞者である深田雅子調査員、鳥取県統計調査員会から牧田純江調査員が参加されました。会場となった富山市芸術文化ホールには全国から約1,500名が集い、盛大に催されました。

第59回全国大会は岡山県岡山市において、平成20年11月13日（木）に予定されています。



（右から、深田調査員、牧田調査員）
開催会場入り口にて

受賞の皆様おめでとうございます

総務大臣表彰

労働力調査

調査員 伊藤理恵子 (鳥取市)

小売物価統計調査

調査員 永見 恵子 (岩美町)

個人企業経済調査

調査員 春摘 智子 (智頭町)

平成18年事業所・企業統計調査

指導員 都田 凱良 (倉吉市)

調査員 塚田美登里 (日吉津村)

平成18年社会生活基本調査

調査員 漆原 一榮 (鳥取市)

各種統計調査

調査員 藤原 利子 (境港市)

調査員 本家 一郎 (若桜町)

厚生労働大臣表彰

労働統計関係

事業所 株式会社明治製作所
(倉吉市)

事業所 山陰アシックス工業株式会社
(境港市)

事業所 鳥取県中部農業共済組合
(北栄町)

事業所 ファミリー株式会社名和工場
(大山町)

調査員 山本すみ枝 (鳥取市)

経済産業大臣表彰

構造統計

調査員 高野 千秋 (鳥取市)

鳥取県知事表彰

鳥取県鉱工業生産動態調査

事業所 全国農業協同組合連合会
鳥取県本部 果実袋工場
(鳥取市)

永年従事調査員

調査員 尾城美智子 (鳥取市)

調査員 湊 恵子 (鳥取市)

調査員 安達 早苗 (米子市)

調査員 松山 定次 (米子市)

調査員 大道 悦子 (境港市)

調査員 浪花 久子 (琴浦町)

調査員 池山 光美 (大山町)

鳥取県統計協会会長表彰

鳥取県鉱工業生産動態調査

事業所 鳥取缶詰株式会社
(境港市)

統計調査員功績者

調査員 岸本 康代 (鳥取市)

調査員 若林 紘子 (鳥取市)

調査員 長谷川悦子 (米子市)

調査員 宮本 管子 (倉吉市)

調査員 岩佐 正巳 (三朝町)

調査員 長尾 幸子 (日野町)

全国統計協会連合会長表彰

統計調査員功績者

調査員 深田 雅子 (鳥取市)

調査員 坂田千恵子 (米子市)

調査員 家根久仁子 (境港市)

調査員 山本 勉 (三朝町)

調査員 八谷美智子 (日野町)

経済産業省感謝状

経済産業省所管統計調査

調査員 秋吉由紀子 (鳥取市)

調査員 井関 絹江 (鳥取市)

調査員 戸田 勝也 (鳥取市)

調査員 山田美千代 (鳥取市)

調査員 大坪 宣子 (鳥取市)

調査員 松井 英代 (鳥取市)

調査員 田中 洋子 (鳥取市)

調査員 山田 慧子 (鳥取市)

調査員 漆原 文雄 (鳥取市)

調査員 中島 健二 (鳥取市)

調査員 木村 建三 (米子市)

調査員 向山 正恵 (米子市)

調査員 岡田 都 (米子市)

調査員 山根 幸裕 (境港市)

調査員 永見真貴子 (境港市)

調査員 林 美幸 (智頭町)

調査員 前田美恵子 (智頭町)

調査員 山方 良江 (智頭町)

調査員 青木 良子 (八頭町)

調査員 松井 正枝 (湯梨浜町)

調査員 明里 英和 (湯梨浜町)

調査員 別所 裕樹 (琴浦町)

調査員 澤田 春美 (琴浦町)

調査員 古林由美香 (琴浦町)

調査員 坪倉 薫毅 (日南町)

調査員 加藤 良子 (日野町)

(敬称略・順不同)

榮譽に

平成 19 年春と秋、5 名の統計調査員の方



瑞宝単光章

※褒章の左は略綬

勲章、褒章は、大きな功績を挙げた方々を表彰する国の制度で、日本国憲法第7条で天皇陛下の国事行為の一つとして定められている「栄典の授与」に当たります。

勲章は大きく分けて、だいくんいきっかしやうけいしよく大勲位菊花章頸飾、だいにじしやう大勲位菊花大綬章、とうかだいにじしやう桐花大綬章、きよくじしやう旭日章、ずいほうしやう瑞宝章、ほうかんしやう宝冠章、そして文化勲章があります。瑞宝章は「ふんかくんしやう国家または公共に対して積年の功労のある者」に授与されます。

平成 19 年春

瑞宝単光章

ふじわら きみえ
藤原 君枝 調査員（鳥取市）



昨年の春、思ってもいなかった瑞宝単光章受章の一報をいただきました時、家族ともども驚きと喜びで一杯になりました。

皇居参内の前にグランドプリンスホテル赤坂で伝達式が行われましたが、式の冒頭で「君が代」が斉唱されたとき、今まで味わったことのない緊張と感激で、涙がこぼれる程の嬉しさが込み上げてまいりました。昭和 47 年から 28 年間継続した家計調査員の日々の中では、家族の反対を受けながら、最後まで調査に協力してくださった方、雪の日にバスが満員で湖山から旧市内の自宅まで徒歩で帰ったこと、事業所の調査で担当の方と信頼関係を築くことできたその瞬間、そして調査員仲間が集まってお互いにアドバイスしたことなどが走馬燈のように懐かしく蘇りました。

良き調査員仲間の方々や調査に協力してくださった多くの方々、また県や市の統計担当者のお陰で、このような榮譽に浴することのできる幸せに感謝申し上げます。

藍綬褒章

くらかずや えこ
倉員八重子 調査員（鳥取市）



春の褒章に際し、はからずも統計調査員として藍綬褒章の榮に浴しましたことは、身に余る光栄でございます。これは、ひとえに調査の度毎に御協力いただいた多くの皆様や、日ごろより心温かいご指導やご支援をいただいた方々のお陰と深く感謝しております。

調査員としての 43 年間、多くの人との出会いを通じて、「お願いする時だけ愛嬌を振りまいても駄目」「毎日毎日人との出会いを大切に、笑顔を忘れず」「何事も相手の身になって考えなければ」等々、人生勉強をさせていただいたことも、価値の高い調査員報酬と感謝しております。

今後とも、関係者の皆様の御協力と調査世帯・事業所の御協力をいただきながら、年齢に関係なく、この仕事に誇りを持って精進したいと考えております。

輝く

に栄典が授与されました

褒章は、こうじゆほうしょう 紅綬褒章、りょくじゆほうしょう 緑綬褒章、おうじゆほうしょう 黄綬褒章、しじゆほうしょう 紫綬褒章、らんじゆほうしょう 藍綬褒章、こんじゆほうしょう 紺綬褒章があります。

藍綬褒章は、「公衆の利益を興し成績著明である者または公同の事務（統計調査、民生・児童委員、調停委員等の公共の事務）に尽力した者」に授与されます。

鳥取県では、今までに24名の統計調査員が栄典を授与されました。

(注) 勲章と褒章の写真は、社団法人時事画報社「勲章と褒章」より転載 お問い合わせ先：フリーダイヤル 0120-008884



藍綬褒章

※褒章の左は略綬

藍綬褒章

やまおか ふみこ
山岡福美子 調査員（米子市）



昨年4月、藍綬褒章を賜りましたこと、身に余る光栄でございます。

昭和50年に、工業統計調査に調査員として任命されて以来、今日まで、工業統計をはじめ各種統計調査の調査員を続けさせていただいておりますが、これはひとえに事業所の皆様や地域の方々の大きな御協力の賜物と感謝の気持ちで一杯でございます。

受章式の日には、全国の受章者の方々とも親しく言葉を交わす機会がございましたが、ともに工業統計調査に関わり、事業所との信頼関係に日夜努力を重ねてきた調査員としての連帯感を共有できましたことは、大変な喜びでございました。

以前に比べ、調査環境は厳しくなっておりますが、今後とも、健康で、明るく、誠実に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしく願い致します。

平成19年秋

瑞宝単光章

つかだ かずみ
塚田一實 調査員（倉吉市）



大阪で万国博覧会が開催された昭和45年、友人に声をかけられて統計調査員として活動を始めました。市の統計担当の方もお互いに心が通じ、以来、今日まで継続して統計調査員を勤めさせていただいておりますが、はからずも平成19年秋の叙勲において荣誉ある瑞宝単光章を賜り、光栄この上なく感じているところでございます。

皇居へ参内して天皇陛下からお言葉を賜りましたときの感激は、言葉では言い表すことができません。

今後も可能な限り調査員として活躍してまいりたいと考えておりますので、よろしく願い致します。

瑞宝単光章

ふるた こういち
古田孝市 調査員（米子市）



瑞宝単光章を頂戴しましたこと、誠に有り難く深く感謝申し上げます。

去る11月8日、皇居へ参内して天皇陛下に拝謁の荣誉とともに、お言葉まで賜りましたことは感激の極みでございました。

思いおこせば、昭和39年9月の消費実態調査をスタートとして、国が実施する各種統計調査を44年余り継続実施できましたのも、地域の皆様が信頼を寄せてくださったこと、そして、何よりも関係当局、先輩、友人等の皆様の温かいご支援のお陰と、感謝申し上げる次第でございます。今後は身体に気をつけて一層精励したいと思っております。

男性は521万人、女性は548万人

平成20年1月1日現在の推計人口によると、子年ね生まれの人口は1069万人で、総人口1億2777万人に占める割合は8.4%となっています。

男女別に見ると、男性は521万人、女性は548万人で、女性が男性より27万人多く、女性100人に対する男性の数（人口性比）は95.1となっています。（表）

十二支の中では4番目

総人口を十二支別に見ると、亥年い生まれが1164万人で最も多く、丑年うし（1093万人）、未年ひつじ（1070万人）と続き、子年ねは4番目となっています。（図1）

昭和23年生まれが最も多い

子年ね生まれの人口を出生年別に見ると、第1次ベビーブーム（昭和22年～24年）世代の昭和23年生まれ（平成20年中に60歳になる人）が227万人で最も多く、次に、第2次ベビーブーム（昭和46年～49年）世代の昭和47年生まれ（同36歳になる人）が199万人となっています。

（表、図2）

- 注1）十二支別人口は、1月1日現在の推計のため、平成20年生まれの子年ねの人は含まれない。
 注2）数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。
 注3）図及び表中の年齢は、平成20年に誕生日を迎えた時の年齢。
 注4）推計人口は、国勢調査による人口を基に、その後の人口動向を他の人口関連資料から得て算出している。

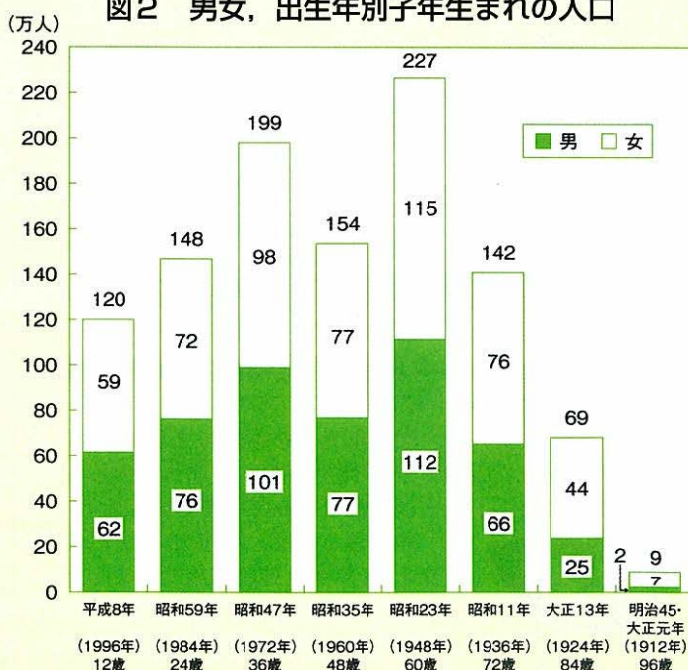
表 男女、出生年別子年ね生まれの人口

生まれた年・年齢		男女計 (万人)	総数に占める割合 (%)	男 (万人)	総数に占める割合 (%)	女 (万人)	総数に占める割合 (%)	人口性比
総数	—	1069	100.0	521	100.0	548	100.0	95.1
平成8年(1996年)	12歳	120	11.2	62	11.8	59	10.7	105.1
昭和59年(1984年)	24歳	148	13.9	76	14.6	72	13.2	105.4
昭和47年(1972年)	36歳	199	18.6	101	19.3	98	17.9	102.4
昭和35年(1960年)	48歳	154	14.5	77	14.9	77	14.1	100.4
昭和23年(1948年)	60歳	227	21.3	112	21.6	115	21.0	97.6
昭和11年(1936年)	72歳	142	13.3	66	12.7	76	13.8	87.2
大正13年(1924年)	84歳	69	6.4	25	4.8	44	8.0	57.0
明治45・大正元年(1912年)	96歳	9	0.9	2	0.4	7	1.3	26.5

図1 十二支別人口



図2 男女、出生年別子年ね生まれの人口



平成19年度

登録調査員中央研修で情報交換

登録調査員中央研修は、原則10年以上の経験をもつ統計調査員を対象に、登録調査員の資質の向上と都道府県を越えた相互交流を図ることを目的に、総務省が毎年実施しているものです。

本年度は、平成19年12月19日（水）～20日（木）の2日間、東京都新宿区の総務省第2庁舎で開催され、全国から登録調査員や行政職員137名が参加されました。

鳥取県からは、調査員2名と県職員1名が参加しました。概要は次のとおりです。

1 講義「最近の統計行政の動き」

講師：総務省政策統括官付統計企画管理官 北田祐幸氏

新統計法のポイントとして、「統計調査の対象者の秘密保護の強化」や「統計データの有効活用の促進」について説明されました。

2 講義「私たちの暮らしと統計調査」

講師：帝京大学経済学部教授 大林千一氏

統計調査結果が「日常生活の中で役立っている内容」や「統計調査から分かること」を、グラフ等で分かりやすく説明されました。

3 班別討議

「調査困難の現状及びその対応方策」をテーマに、12人程度の小グループに分かれ自由討議がされました。討議の中心は「困難客体への対応」でした。10年の経験をもつ調査員の方々の研修とあって、面接での問題よりも、むしろ客体に会えない苦労が多く出されました。この対応として「誠意を持って、粘り強く、あきらめないことが良い結果に繋がる。」という発言に、皆さんが賛同されていました。



大林先生による講義



左から河本登録調査員、若林登録調査員

鳥取県からの参加登録調査員から一言

若林絃子登録調査員（鳥取市）

上司の理解で休暇をとって参加しました。全国の方々と直接意見交換でき、大変有意義でした。自分の地域で「後継者をどう育てるか」が今後の課題と感じました。

河本容子登録調査員（倉吉市）

客体に「誠意」を持って説明すること。誠意が客体に通じてこそ信頼が得られることに、改めて思いを深くしました。



班別討議

統計法が変わります

「行政のための統計」から「社会の情報基盤としての統計」へ

公的機関が作成する統計が、より体系的・効率的に整備され、国民・事業者の方々にもより使いやすいものとなるよう、統計法が全面的に改正されます。（平成19年5月23日公布。全面施行は2年以内）

【新しい統計法の四本柱】

① 公的統計の体系的・計画的整備の推進

③ 統計調査の対象者の秘密保護の強化

② 統計データの有効利用の促進

④ 統計整備の「司令塔」機能の強化

総務省政策統括官（統計基準担当）



平成20年度に実施される

統計調査 (調査員調査) の一覧

(平成20年3月1日現在で把握できる予定です)

調査名・調査基準日 市町村	市町村委託分					県直接調査分									
	住宅・土地統計調査	国勢調査第2次試験調査	経済センサス第2次試験調査	漁業センサス	工業統計調査	家計調査	小売物価統計調査	労働力調査	個人企業経済調査	毎月勤労統計調査(第2種)	毎月勤労統計調査(特別調査)	生産動態統計調査	商業動態統計調査	特定サービス産業実態調査	鉱工業生産動態調査
	10/1	6/13	7/1	11/1	12/31	毎月	毎月	毎月	毎四半期	毎月	7/31	毎月	毎月	11/1	毎月
鳥取市	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米子市	○	○		○	○			○	○	○	○	○		○	○
倉吉市	○				○			○		○	○	○	○	○	○
境港市	○			○	○			○		○	○	○			○
岩美町	○			○	○		○								
若桜町	○				○										
智頭町	○				○			○			○				
八頭町	○				○			○			○				
三朝町	○				○										
湯梨浜町	○			○	○					○					
琴浦町	○			○	○					○	○				
北栄町	○			○	○	○				○		○			
日吉津村	○			○	○					○					
大山町	○			○	○			○			○				
南部町	○				○			○		○	○				
伯耆町	○				○										
日南町	○				○			○		○					
日野町	○				○						○				
江府町	○				○			○							

注) ○印は対象市町村を示す。

ただ今発売中

平成19年版「100の指標からみた鳥取県」

平成19年版「100の指標からみた鳥取県」ができあがりました。全国都道府県別に掲載しているさまざまな指標から、鳥取県を分かりやすく知ることができると好評をいただいています。

価格 700円(税込み)



*申込み・問い合わせ先

鳥取県企画部統計課

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220

TEL: 0857-26-7103 FAX: 0857-23-5033

県庁県民室、各総合事務所県民局でも御購入いただけます